

# 故人やご先祖をまつる 仏壇・お墓の基礎知識をお届けします。

葬儀の後は、家族による毎日のお参りをはじめ、命日の僧侶によるお勤め、  
法要など仏事のために、仏壇はなくてはならないものです。  
また、一家のお墓は、故人やご先祖の霊を敬い末永く供養するよりどころです。

## ●仏壇は、家庭の心のよりどころです。

- \* 仏壇は、家族全員の心のよりどころとして、日常生活の中心になるものです。
- \* み仏とご先祖を敬う気持ちを、朝夕のお勤めで表現したいものです。

## ●仏壇の購入時期に、決まりはありません。

- \* 仏壇の必要性を感じた時が、ちょうどよい機会です。
- \* 法要などの時期に合わせて購入し、仏壇の開眼法要を一緒におこなうと便利です。
- \* 古い仏壇を処分する時は、僧侶に「魂抜き」や「み霊抜き」をしてもらいます。

## ●仏壇を安置する方角にも意味があります。

- \* 仏壇の安置場所は、あまりむずかしく考えることなく、家族がいつでもお参りしやすい場所を選ぶようにしましょう。
- \* 仏壇を安置する方角は、部屋の西側から東を向けて安置するのが一番よいとされています。これは仏教の理想世界である西方浄土を拝むことになるからです。
- \* 北側に安置することもあります。これは、古来から神仏が鎮座する場所とされているからです。

## ●仏壇の購入のチェックポイント。

- \* 宗派に合ったものを選びましょう。
- \* 置き場所とインテリア、他の家具との調和を考えましょう。
- \* タンスの上に置くことのできる仏壇や、置き場所をとらないコンパクトな仏壇、洋室用にデザインされた仏壇などもあります。
- \* 仏壇の種類は、金仏壇（本漆塗り、本金箔押し仕上げなど）、唐木仏壇（黒檀、紫檀、桜檀）などがあります。
- \* 仏壇は、上質な物の方が何代にもわたって末永く使えます。

## ●お墓は、その家のシンボルです。

- \* お墓は、ご先祖の供養の気持ちを永遠の形として表現するものです。
- \* 諸事の進行は、家族や兄弟など皆さんで相談して決めるようにします。

## ●墓地（霊園）の選定が大切です。

- \* 菩提寺（お世話になっている寺院）の墓地、公共の墓地、民間経営の墓地などがあります。
- \* 予算やスペース、交通の便などを考慮して選定します。
- \* 永代使用料を納めて借りる場合が多いようです。
- \* 墓地によっては、使用权の委譲を認めていない場合もありますので、継承について確認しておきましょう。

## ●墓石の建立には、1～2ヵ月かかります。

- \* 寺院や業者と相談し、墓石の質や大きさ、形、刻字の内容などを決定します。
- \* 生前に墓石の建立をおこなう場合もあります。これは長寿を授かる縁起の良い事とされています。

## ●墓石の建立は、年忌におこなうのが一般的です。

- \* 一周忌、三回忌などの年忌に合わせて墓石を建てる場合が多いようです。
- \* 年忌以外の場合は、春秋のお彼岸か、お盆におこなうことが多いようです。

## ●開眼法要と納骨をおこないます。

- \* 墓石が建立されたら、僧侶と親戚関係を招き、開眼法要をおこないます。
- \* 墓前と、近くのお墓にも線香と供物を供えます。
- \* 読経、除幕、焼香などの開眼法要をおこない納骨します。

## ●お盆やお彼岸にはお墓参りをします。

- \* お墓の周囲を清掃し、線香と仏花とお供えをします。

# 忌明け法要が近づいてまいりました。 ご準備はお済みでしょうか。

忌明け法要(五七日忌の三十五日、または七七七日忌の四十九日、満中陰ともいう)は、  
葬儀後におこなう最初の大きな法要で、さまざまな準備が必要です。

## ●忌明け法要までは、慶事は差し控えます。

- \* 仏教では、この日までを中陰と呼び死者の運命が決まる重要な日とされています。
- \* 忌明けまでは、遺族は結婚式などの慶事への出席は差し控えた方がよいでしょう。
- \* 僧侶を招き、親族と故人の関係者で一緒におつとめをします。

## ●日取りは、早目に関係者へ連絡します。

- \* 忌明け法要は、亡くなった日を入れて三十五日目、もしくは四十九日目に営む習わしですが、直前の休日におこなう場合が多くなっています。
- \* 僧侶の予定を尋ね、日時、場所を決定します。
- \* 親戚関係と、故人の友人関係など特にお世話になった方々を招きます。
- \* 連絡は、電話またはハガキにておこないます。

## ●白木の位牌を本位牌に替えます。

- \* 忌明け法要までに、塗りや唐木の本位牌を用意しておきます。
- \* 忌明けを過ぎた白木の位牌は、菩提寺や葬儀社と相談します。

## ●納骨とお墓参りをおこなう場合もあります。

- \* この日に納骨をおこなう場合は、あらかじめ供養の用意をしておきます。
- \* お墓がまだない場合は、忌明けが過ぎたら遺骨を寺院や霊園の納骨堂に預かってもらうこともありますので、寺院などと相談しておきます。
- \* 法要に引き続いて参列者でお墓参りに行く場合は、事前にその旨を連絡し、清掃や花、線香などの準備をおこなっておきます。

## ●法要の後、会食をおこないます。

- \* ご参列された方々を、料理などでもてなすのが通例となっています。
- \* 施主は、ここで挨拶をします。
- \* お布施は、あらかじめ用意しておきます。
- \* 僧侶が会食に同席されない場合の「御膳料」、交通費としての「お車代」を別途に包むこともあります。

## ●帰りに、引物をお渡しします。

- \* 会食には、引物を付けるのが一般的です。
- \* 手提げ袋や風呂敷を人数分用意し、持ち帰りに便利ないようにしておきましょう。



その想いをかたちに  
セレモ共済会®  
**Ceremony**  
株式会社 セレモニー